

加瀬みきの ワシントン発 グローバル随想

ケネディの名が 大統領を決めるか



イラスト・題字：長峯亜里

アメリカの秋の大統領選挙は現職のバイデン大統領(民)対トランプ前大統領(共)のリマッチとなったが、結果を予測するのが不可能なほどの接戦が続いている。しかし2人への期待感も支持も低く、大方の有権者は「より嫌いでない」候補に票を入れそうである。

第3の候補がキングメーカーに

この状況で注目されるのがロバート・F・ケネディ・Jr(RFK Jr)である。アメリカの大統領選挙では2大政党の候補以外が大統領に選出されたことはない。しかし第3の候補が大統領を決めることはある。

2000年の大統領選挙では元大統領の息子ジョージ・W・ブッシュ(共)と副大統領のアル・ゴア(民)が大接戦を展開し、最後フロリダ州の得票数で決まることになった。当初の集計で2人の得票差はフロリダ州での総投票数の0.5%以下であったためフロリダ州法に基づき再集計が行われたが、その結果差は投票総数約600万票のうちわずか537票となった。一方、緑の党のラルフ・ネーダーは9万7488票獲得していた。もしネーダー候補がいなければゴア氏が勝利した可能性は否めない。

2016年の大統領選挙では勝利間違いないとされたヒラリー・クリントン(民)がドナルド・ト

ランプ(共)に敗退した。敗因の1つは第3の候補とされる。ミシガン州やウィスコンシン州などの接戦州では、得票差1%以下で予想外にトランプ氏が勝利したが、リベタリアンや緑の党の候補への票がクリントンに行っていれば大統領選の結果が違ったかもしれない。

ケネディ台頭

本選挙では2大政党以外の候補は、ケネディの他にコーネル・ウェストとジル・スタインである。ウェストは神学者、政治思想家で多くの著書もある。ハーバード大学卒、プリンストン大学院で博士号を得ている。ジル・スタインはハーバード大学医学大学院卒で25年間内科医として勤めた。2012年、2016年と緑の党の候補として大統領選挙に出馬した。

両氏が各種世論調査で数パーセントしか獲得しないのに比べ、ケネディは15パーセント前後という数字も出ており、バイデン陣営もトランプ陣営もケネディを脅威と感じ対抗策に必死である。

ケネディは故ケネディ大統領の甥^{おい}であり、同じく暗殺されたロバート・ケネディ司法長官の長男である。民主党の大統領候補の道がないとみると独立候補となった。父が暗殺された時は14歳。その後2つの寄宿学校から麻薬使用で